

社会科学学習指導案

千葉市教育研究会社会科研究主題

新たな社会の担い手として生きる力を育む社会科学学習
～児童生徒が社会的な見方・考え方を働かせる問題解決的な学習を通して～



1 小単元名 店の仕事

2 小単元について

本小単元は学習指導要領第3学年の内容(2)アの(イ)「販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。」及び(ウ)「見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。」、イの(イ)「消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。」を受けて扱うものである。

本小単元は、「わたしたちのくらしと市の人々の仕事」の単元における「販売」にあたる学習である。販売の仕事として、主にスーパーマーケットを扱う。私たちの身の回りには、様々な種類の店があるが、なかでもスーパーマーケットは日常的に多くの人が利用している店であり、消費者、販売者の両方の視点から販売の仕事について捉えることができる教材である。スーパーマーケットは、国内だけでなく世界各地から商品を仕入れ、品質管理や並べ方を工夫し、販売している。これらに着目して見学・調査し、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉えることで、これらの工夫が消費者の多様な願いを踏まえ、売上げを高めるために行われていると理解することをねらいとしている。

本学級は、第3学年より始まった社会科の学習に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、学習経験の少なさから、単元を貫く学習問題を解決するための学習計画を立てることや、身近な生活との関わりを意識して学習することはあまりできていない。また、家族と一緒に買い物に行っている経験から、身近な地域にスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどがあることは知っているが、なぜその店を選ぶのかという理由については具体的には知らない児童が多く、消費者としての意識はあまりもっていないという面がある。そのため、これからの指導においては、児童一人一人が単元全体を貫く問題意識をもつことや、社会との関わりを意識して問いを追究することができるような指導を行っていく必要があると考える。

そこで本小単元では、多くの児童が利用している学区内のスーパーマーケットを学習素材として取り上げ、見学に行ったり、働く人にインタビューをしたりして学習を進めていく。学習過程の「つかむ」では、買い物調を行い、気付いたことや疑問に思ったことから働く人の工夫について学習問題を立てる。さらに働く人の工夫についての予想をもとに、学習計画を立てて見通しをもたせることで、問いを追究する意欲を高めていきたい。また、身近な生活との関わりを感じながら学習を進めるため、学習過程の「調べる」の終盤に、買い物調べで挙げた他のスーパーマーケットについても取り上げ、その工夫を調べることで、店舗ごとに特色があることに気付けるようにしていく。さらに、コンビニエンスストアやショッピングセンターも多く利用していることから、学習過程の「広げる」では、それらの店の工夫を調べる活動を取り入れる。これにより、それぞれの店の特色をつかむだけでなく、消費者としての願いと店の工夫を結び付けることで、店によって売上げを高めるために様々な工夫がされていることに気付かせたい。また、買い物の目的や願いをもとに店を選択することができる賢い消費者としての素地を養っていきたい。

4 知識の構造図

中心概念

販売の仕事に携わる人々は、消費者の様々な願いにこたえ、売り上げを高める工夫や努力をしながら仕事をしている。 ⑪⑫⑬

まとめる

具体的知識

地域には、様々な種類の店がある。

①

利用する理由は店によって異なるが、家の人がよく利用するのはスーパーマーケットである。

②③

スーパーマーケットでは、たくさんの品物が販売されている。また、お客さんが買い物しやすいように売り場の工夫をしている。

⑥

スーパーマーケットに並ぶ多くの品物は、国内だけではなく外国も含めた、他地域との関わりによって成り立っている。

⑦

スーパーマーケットではたくさんの人たちが仕事をしていて、品物の注文や陳列をしたり、品物を加工・包装したりするなど、様々な取組をして、お客さんがたくさん来るよう工夫している。

⑧

スーパーマーケットで働く人は、お客さんの多様なニーズにこたえるための様々なサービスをしており、それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっている。

⑨⑩

店の種類が違くと店に合った工夫の仕方がある。お客さんの願いを叶えるために工夫していることはどの店も同じである。

⑭

・スーパーマーケット・ドラッグストア
・コンビニエンスストア
・ショッピングセンター

・売り場
・値段
・商品
・品質

・かんばん
・陳列

・産地
・国旗
・ねふだ
・国産
・外国産

・品質
・注文
・レジ
・バックヤード

・サービス
・リサイクルコーナー
・休けいコーナー
・地域貢献

・24時間営業
・フードコート
・専門店

用語・語句

つかむ

調べる

広げる

※④は見学計画、⑤は見学活動のため欠番

5 小単元の目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いをふまえ、売り上げを高めるよう、行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

6 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。	①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目し、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いをふまえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	②地域に見られる販売の仕事と他地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。	

7 小単元の指導計画（14時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	○よく買い物に行く店を紹介し合う。 ・近くのスーパーマーケット ・コンビニエンスストア ・ショッピングモール ・ドラッグストア ○買い物調べの仕方を確認し、家で買い物調べをする。 ・よく買い物に行く店はどこだろう。 ・どのようなものを買っているのだろう。 ・なぜそのお店に買い物に行くのだろう。
	2	○買い物調べの結果を白地図にまとめる。 ・スーパー…近いから。安いから。 ・コンビニ…24時間やっているから。 ・ショッピングモール…いろいろなお店が入っているから。 ・スーパーに買い物に行く人が多い。

調 べ る		○買い物調べの結果から疑問や気付いたことを話し合い、学習問題を立てる。 ・なぜスーパーにたくさんの人が行くのだろうか。 ・いろいろな仕事をしている人がいそう。どんな仕事をしているのだろうか。 ・どうやって品物を安く売っているのだろうか。 学習問題 スーパーマーケットではたらく人は、たくさんの人にきてもらうために、どのように工夫をしているのだろうか。
	3 (本時)	○スーパーマーケットでは、たくさんの人に買い物をしてもらうために、どのような工夫をしているのか予想する。 ・品物を安く売る工夫をしている ・おいしくて新鮮なものを売る工夫をしている。 ・たくさんの種類の品物を売っている。 ・品物を見つけやすくしている。 ・ちらしを作っている。 ○予想したことをもとに学習計画を立てる。 【調べること】 ・売り場にはどんな工夫があるか。 ・どのような品物があるか。 ・働いている人はどのような仕事をしているか。 ・お店のサービスはどのようなものがあるか。 ・その他の工夫は何かあるか。 【調べる方法】 ・スーパーに見学に行く。 ・お店の人にインタビューをする。
	4	○スーパーマーケットの見学計画を立てる。 ・売り場のどこを見てくるか。 ・どんな品物があるか。 ・バックヤードでは何をしているか。 ・インタビューしたいことは何か。
	5	○見学計画をもとにスーパーマーケットを見学する。 ○見学やインタビューをして分かったことを視点ごとに見学ワークシートに記入する。 ・野菜、果物、肉、魚、日用品など様々なものが売られている。 ・看板があって、売り場が分かりやすくなっている。 ・商品の並べ方や置く場所も工夫している。 ・安く売るために、節電したり並べ方を工夫したりしている。
	6	○バックヤードを見学して分かったことが入るように、店の売り場の工夫を見取り図にまとめる。 ・品物の名前が見えるように並べてあった。

		・どこに何があるかを看板で分かりやすくしていた。 ・おすすめの品が書いてあった。 ・重いものがレジの近くにあった。 ・特に売りたい商品を真ん中に置いていた。
	7	○スーパーで売られている品物がどこから運ばれているのかをチラシで調べ、白地図にまとめる。 ・いろいろな商品が置いてあった。 ・どこから来ているのか、値札やシールに地名が書いてあった。 ・お肉はアメリカ産と書いてあった。 ・じゃがいもは北海道産だった。 ○他地域とのつながりを考え、話し合う。 ・わたしたちの市や県以外からも運ばれてきているものがある。 ・日本だけでなく、外国からも運ばれてきている。 ・旬のおいしいものを仕入れている。
	8	○スーパーマーケットではどんな仕事をしている人がいるか調べる。 ・品物を並べる人がいる。 ・レジを担当する人がいる。 ・品物を注文する人がいる。 ・バックヤードで品物を切ったり分けたりする人がいる。 ○見学やインタビューしたことをもとに、スーパーで働いている人はどんな工夫をしていたか話し合う。 ・品物を安く売るための工夫をしている。 ・お客さんが気持ちよく買い物できるように素早く笑顔で会計している。 ・品切れにならないように数を確認して注文している。 ○買う人のどのような願いに応えているのか考える。 ・なるべく安く商品を買いたい。 ・安全でおいしいものを買いたい。 ・短い時間で買い物がしたい。 ・品切れせず、欲しいものを安心して買いたい。
	9	○品物を売る以外に、どのような取組をしているか話し合う。 ・食品トレーの回収ボックスがある。 ・駐車場がある。 ・ポイントを貯めることができる。 ・車いすの貸し出しをしている。 ・リサイクルで地域に貢献している。
	10	○他のスーパーマーケットの工夫と比較してスーパーマーケットの工夫について話し合う。 ・冷凍食品を安く売っているお店もある。 ・水の販売機やふれあいコールなどがある。 ・休憩コーナーがある。

		・同じスーパーマーケットでもお店によって工夫がちがう。 ・それぞれのお店にはそれぞれの良さがある。 ・売り上げをあげるために、お客さんの思いを叶えようとしているのは同じ。
まとめる	1 1	○これまでの学習で分かったことや消費者の願いとお店の工夫のつながりを整理し、まとめる。 ・買う人の願いと店で働く人の工夫にはつながりがあった。 ○学習問題に対するまとめを考える。 まとめ スーパーマーケットではたらく人は、たくさんの人に来てもらうために、お客さんの思いやねがいをかなえる様々な工夫をしている。
	1 2 1 3	○学習したことをもとに、「スーパーマーケットの工夫新聞」を作る。 ・働く人の工夫には、「産地」や「品質」のことを入れたい。 ・安く売る工夫や、商品を並べる売り場の工夫のことを入れたい。 ・販売以外のサービスのことも載せたい。 ・それぞれのスーパーマーケットによって工夫が違うから、お店を選んで買い物をしたい。
広げる	1 4	○スーパーマーケット以外には、どのような店があり、どのような良さがあるのか調べる。 ・コンビニエンスストア…早朝や深夜も買える。 ・ショッピングモール…たくさんの店が集まり、駐車場も広い。 ・ドラッグストア…薬や日用品がたくさんある。 ・どの店もお客さんのことを考えて、その店にできる工夫をしている。 ○よりよい買い物をするために何を大切にしたいか話し合う。 ・自分がほしいものに合ったお店を選びたい。 ・家族で買い物に行くときはショッピングモールを使いたい。 ・ちらしをよく見てお店を選びたい。

8 市教研社会科研究主題解明のための方策

新たな社会の担い手として生きる力を育む社会科学習
～児童生徒が社会的な見方・考え方を働かせる問題解決的な学習を通して～

<本年度主題解明のための方策>

研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫

研究内容 2 問題解決的な学習につながる指導法の工夫

研究内容 3 指導と評価の一体化

本小単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫

○児童の生活と結び付けるための単元構成の工夫

本小単元では、学校から一番近くにあるスーパーマーケットへ見学に行くことで、働く人の工夫について調べていく。本学級の家庭のほとんどが利用しているスーパーマーケットがある。一方、他のスーパーマーケットを利用していたり、他のスーパーマーケットと使い分けたりしている家庭もある。児童にとって一番身近である家族がどのように買い物をする店を選択しているのかに着目させることで、消費者の願いと店の工夫を結び付けられるようにしていきたい。

学習過程の「つかむ」において、各家庭の買い物調べを行い、自分の家の買い物の様子（誰が・どの店で・いつ・何を買ったか・店を選んだ理由）を知り、それを「買い物地図」に表していく。その際、店を選んだ理由を「①売り場」「②品物、産地」「③働く人」「④サービス」の4つの視点で色分けして視覚化することで、消費者としての店選びの基準や思いがあることに気付かせたい。買い物地図にまとめていく過程を通して、それぞれの店にはお客に来てもらう工夫があるのではないかという問いをもたせていく。調べ学習やスーパーマーケットの見学を進めていく上でも、この4つの視点がもとになるように学習計画を立てていく。学習過程の「調べる」では、スーパーマーケットの見学や調べ学習の後に、買い物調べの際に挙げた他のスーパーマーケットの工夫を、店を選んだ理由をもとに調べる活動を取り入れる。同じスーパーマーケットでも、それぞれの店舗によって異なる工夫があることに気付かせ、消費者として目的や思いをもって店を選択していくことができる、賢い消費者となるようにしていきたい。学習過程の「まとめる」では、スーパーマーケットを見学してわかった「売り場の工夫」「働く人の工夫」「品物について」「他のサービス」を新聞にまとめていく。販売する側の仕事の工夫と消費者の願いとを関連付けてまとめていくことで、自分たちの生活との関わりに気付くことができると考える。学習過程「広げる」において、コンビニエンスストアやショッピングモールなどの他の店の工夫について調べる際にも、スーパーマーケットの学習をもとに4つの視点をを用いる。これにより、店ごとの特色があることを捉えるとともに、自分たちの生活と結び付け、消費者としての自覚を高め、どのように店を選択していくことができるか考えられるようにしていきたい。

研究内容 2 問題解決的な学習につながる指導法の工夫

○見通しをもって学習を進めるための協働的な学習

小単元の学習問題を立てた後、その解決に向けての見通しをもって学習を進めていくために、一人一人が学習問題に対する予想を考え、学級全体で学習計画を立てていく。しかし、児童は家族と一緒に買い物に行く経験はしているが、その頻度には差がある。さらに、児童自身が買い物をしているわけではないため、普段の経験だけで学習問題に対する予想を考えるのは難しいことが予想される。そのため、学習計画を立てる際には、買い物調べの際に学級全体で作った「買い物地図」を用いてスーパーマーケットで働く人の工夫に対する予想を短冊に考えていく。その後学級全体で「①売り場」「②品物、産地」「③働く人」「④サービス」の項目ごとに分類していき、働く人の工夫に焦点が向くようにする。分類後は、どのような調べ学習を行えば、自分たちの予想が確かめられるのかを話し合い、学習計画を立て、見通しをもてるようにしたい。また、自分の考えに自信がない児童も、学級の友達の考えをもとに一緒に分類していくことで、スーパーマーケットの工夫に対する関心を高め、問題意識がもてるようになり、主体的に学習に取り組むことができると考える。

9 本時の指導（3／14）

（1）目標

- 買い物調べで気付いたことをもとに、スーパーマーケットで働く人の工夫について予想し、表現することができる。（思考力、判断力、表現力等）
- スーパーマーケットで働く人の工夫について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとする。（学びに向かう力、人間性等）

（2）本時の展開

時配	学習活動と内容		○教師の指導と支援 ◆評価	資料	
3分	1 前時で立てた単元を貫く学習問題を確認する。 (学習問題) ・スーパーマーケットで働く人はたくさん の人に来てもらうためにどのような工夫 をしているのだろうか。		○買い物調べの結果をもとに学習 を進めていくために、前時で使用 した資料や買い物地図を掲示し ておく。	買い物地図、 スーパーの売 り場のイラスト、 はたらく 人のイラスト	
2分	2 本時のめあてを確認する。 スーパーマーケットではたらく人の工夫をよそうし、学習計画を立てよう。				
10分	3 前時の買い物地図をもとに学習問題に 対する予想を立て、短冊に書く。 ・いろいろな種類のものを売っている。 ・買い物しやすいように品物を並べてい る。 ・新鮮なものを売っている。 ・すばやくレジで会計をしている。 ・ちらしを作っている。		○予想を立てやすくするために、買 い物地図を提示しておく。 ○働く人に焦点を当てることがで きるように、書き出しを「スーパ ーマーケットで働く人は…」に続 くように指示をする。 ○児童の書いた短冊から、指名する 児童をあらかじめ考えながら机 間指導をし、4つの項目が出てく るようにする。		買い物地 図
15分	4 書いた短冊を項目ごとに分類する。 <table><tr><td>売り場 ・ 買い物しやすい ように品物を並 べている。 ・ 品物を見つけや すいようにして いる。 ・ 目立たせてい る。</td><td>働く人 ・ おいしくて新鮮 なものを売る工 夫をしている。 ・ 安く売ってい る。 ・ すばやくレジを している。</td></tr></table>		売り場 ・ 買い物しやすい ように品物を並 べている。 ・ 品物を見つけや すいようにして いる。 ・ 目立たせてい る。	働く人 ・ おいしくて新鮮 なものを売る工 夫をしている。 ・ 安く売ってい る。 ・ すばやくレジを している。	
売り場 ・ 買い物しやすい ように品物を並 べている。 ・ 品物を見つけや すいようにして いる。 ・ 目立たせてい る。	働く人 ・ おいしくて新鮮 なものを売る工 夫をしている。 ・ 安く売ってい る。 ・ すばやくレジを している。				

	<table><tr><td>品物・産地 ・ いろいろな種類 のものを売って いる。 ・ その季節のもの を売っている。 ・ 食品以外の品物 も売っている。 </td><td>サービス ・ ちらしを作っ ている。 ・ ポイントカード を作っている。 ・ 割引している。 ・ 水をくむところ がある。 </td></tr></table>	品物・産地 ・ いろいろな種類 のものを売って いる。 ・ その季節のもの を売っている。 ・ 食品以外の品物 も売っている。	サービス ・ ちらしを作っ ている。 ・ ポイントカード を作っている。 ・ 割引している。 ・ 水をくむところ がある。		◆買い物調べで気付いたことをもとに、スーパーマーケットで働く人の工夫について予想し、表現している。(短冊) <思考・判断・表現>			
品物・産地 ・ いろいろな種類 のものを売って いる。 ・ その季節のもの を売っている。 ・ 食品以外の品物 も売っている。	サービス ・ ちらしを作っ ている。 ・ ポイントカード を作っている。 ・ 割引している。 ・ 水をくむところ がある。							
10 分	その他 ・ 駐車場を広くしている。 ・ リサイクルコーナーがある。 ・ 座って休めるところがある。							
	5 分類した項目を全体で確認し、学習計画を立てる。 【調べること】 ・ 売り場にはどんな工夫があるか。 ・ どのような品物があるか。 ・ はたらいっている人はどのような仕事をしているか。 ・ お店のサービスはどのようなものがあるか。 ・ その他の工夫は何かあるか。 【調べる方法】 ・ スーパーに見学に行く。 ・ お店の人にインタビューをする。		○分類した項目から、調べる内容を考えることができるように、声をかける。 ○調べるだけでなく、調べ方を共有することで、見通しをもって追究活動を進めることができるようにする。 ◆スーパーマーケットで働く人の工夫について予想したことをもとに、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発言) <主体的に学習に取り組む態度>					
5 分	6 単元の学習計画を確認し、次時の見通しをもつ。 <table><tr><td>①売り場の工夫について調べよう。</td></tr><tr><td>②働く人の工夫について調べよう。</td></tr><tr><td>③品物や産地について調べよう。</td></tr><tr><td>④お店のサービスについて調べよう。</td></tr><tr><td>⑤お店を比べてみよう。</td></tr></table>	①売り場の工夫について調べよう。	②働く人の工夫について調べよう。	③品物や産地について調べよう。	④お店のサービスについて調べよう。	⑤お店を比べてみよう。		○単元の学習計画の⑤番は、児童から発言があった場合には記載する。 ○立てた学習計画をもとに、次時では見学計画を立てることを確認し、見通しをもてるようにする。
①売り場の工夫について調べよう。								
②働く人の工夫について調べよう。								
③品物や産地について調べよう。								
④お店のサービスについて調べよう。								
⑤お店を比べてみよう。								

9 板書計画

スーパーマーケットではたらく人の工夫を
よそうし、学習計画を立てよう。

売り場 	働く人
品物・産地	サービス

児童が予想した短冊を項目に
分類して貼る。

【調べること】

- ・売り場にはどんな工夫があるか。
- ・どのような品物があるか。
- ・はたらいっている人はどのような仕事をしているか。
- ・お店のサービスはどのようなものがあるか。
- ・その他の工夫は何かあるか。

【調べる方法】

- ・スーパーに見学に行く。
- ・お店の人にインタビューをする。

10 資料

①スーパーマーケットの売り場のイラスト（前時で使用）

